

ニューテクノロジー委員会

New Technology Committee

委員長 水本 良

株式会社 日本システムデザイン 取締役

はじめに

MIJS Vision

日本を変革する
テックイノベーション
の実現

2016年度活動方針

知識・経験・好奇心を持ち寄って

1. 切磋琢磨し技術基盤を強化
2. ニューテクノロジーの評価と選択
3. エンジニアコミュニティを構築

ニューテクノロジー委員会

チェアマン 梅田 弘之



株式会社システムインテグレータ
代表取締役社長

評価委員長 小野 和俊

株式会社アプレッソ
代表取締役社長



運営体制

委員長
水本 良

副委員長

株式会社 ネオレックス
取締役 CEO

駒井 研司

副委員長

株式会社 クエストラ
取締役&執行役 CTO

畠中 晃弘

副委員長

株式会社 フレクシエ
取締役/開発部長

樋口 陽介

月 1 回の定例開催

各社発表 1 時間 (各回3社)

+

分科会 1時間

+

懇親会

各社発表

組織拡大に伴い発生する技術課題

株式会社 ユニリタ 尾上 雄馬さん

デモ環境の運用について

株式会社 システムインテグレータ 石合 一郎さん

サーバサイドエンジニアが今どきのフロントエンドを 触ってみた

株式会社 日本システムデザイン 原田 清秀さん

QUESTETRAでのログ周りのインフラについて

株式会社 クエストトラ 江原 良典さん

Read Replicaを利用してRDS MySQL5.6にアップグ レードしている最中の話

株式会社 ネクスウェイ 山下 智紀さん

各社発表

商材リリース後に発生する運用面での課題と対策

株式会社 ブロードリーフ 渡辺 政和さん

秘密分散法とその活用

株式会社 TCSI 友村 清さん

メールの作り分けについて軽くおさらい

株式会社 エイジア 友池 貴之さん

マルチデバイスアプリの調査

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 桐野 博光さん

4つの挑戦とその効果

株式会社ネオレックス 山下 公大さん

メモリダンプの活用について

クオリティ株式会社 宮脇 慎さん

各社発表

二要素認証を実現する

株式会社クエステトラ 畠中 晃弘さん

開発ツール導入の実際

株式会社 ユニリタ 袴田 彰礼さん

Spring bootで爆速アプリ開発

株式会社 アプレッソ 原田 智弘さん

Introduction of Electron

エレクス 株式会社 横内 宏樹さん

AWSの新BIサービス~ Amazon QuickSightとは~

J Bアドバンスト・テクノロジー株式会社 長谷川 慎哉さん

各社発表

Java 8のおさらい

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社 橋本 拓児さん

新製品、鋭意開発中 ～はじめてのモバイルアプリ～

株式会社 フレクシェ 樋口 陽介さん

Redmine、Gitlab、Jenkins、LADPを連係してみた

株式会社 ブロードリーフ 谷口 雄一郎さん

ここ一年の開発環境改善

株式会社システムインテグレータ 河原田 稔 さん

SAMLを実装しました

ナレッジスイート株式会社 森島 佑さん

各社発表

柚子とPepperと私

株式会社日本システムデザイン 梶 孝枝さん

ネオレックスでつくっちゃったもの

株式会社ネオレックス 中村 裕樹さん

新商品開発においてやってみたこと

株式会社 ブロードリーフ 秋山 亮介さん

ユーザストーリーとユースケースで進める要件抽出

株式会社 ユニリタ 斎藤 篤史さん

各社発表

昨年度発表頂いた会員企業（17社）



時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

System Integrator



NEXWAY
INTEC Group

すべては変革のために
b-en-g

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社



BroadLeaf



株式会社TCSI



QualitySoft
クオリティソフト株式会社



ICTで豊かな情報社会を。
日本システムデザイン



Panasonic

Knowledge Suite

各社発表



分科会

前期

セキュリティ

新しいプログラミング言語

AIのエンタープライズ活用

ウェアラブルデバイスチーム



後期

機械学習プラットフォーム

ロボット（ドローン）

デプロイ

UI・UX

React.js + フラクサー

マネージャ系（定量管理など）

分科会



イベントを不定期で開催（検討中）
血祭り
プログラミングコンテスト
各社開発標準・品質基準等の
共有

活動内容

セキュリティ調査

昨年度には委員会以外に拡大して開催

過去最高の件数の情報を頂き
品質・信頼性も向上しました

ありがとうございました。
引き続き今期も予定しております。



昨年度、製品技術強化委員会参加者の声

個人で持ち帰れたこと（一部）

刺激を受けました。

機械学習の理論（ベイズ推定）から理解する機会を得ました。

自社ではなかなか手を出せなかった新しいサービスについての知識を取得し、実際に使ってみることができた。

他社様とのコミュニケーションの機会を得られたことは、プラス要素として大きい。

他社のエンジニアがどのように仕事をしているのか、刺激を受けることができました。技術としては **React.js** など。

流行っているAIを実体験できてためになった

昨年度、製品技術強化委員会参加者の声

自社の製品、もしくは会社で何か変えられたこと（一部）
AI、技術、フレームワーク、セキュリティなど、社内の製品開発に活かすことを検討するまでに至ることが出来ました。

新しいサービスの企画を立ち上げた

各社製品のセキュリティ対策状況調査に関しては、社内で共有を行い、優先度が高い項目については対応検討することができました。

実際の製品へ、**React.js**、**Flux**の導入をすすめています。

設計の進め方等、プロセス面での変化があったと考えています。

来期の**MIJS**参加希望者が増えた。昨年は**0**でした。

次回開催のご案内

2016年度 第1回定例会

4月12日 (火)

16時～ 2時間

すべては愛蔵のために

b-en-g

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

さんで開催します

今年も場所をお借りし
ありがとうございます

さいごに



会員みなさまのご参加
おまちしております